

つっぱりポール テレビ設置システム  
TV セッターフリースタイル

# NA112 ビッグプレート

## 設置マニュアル



この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、DIY(日曜大工)が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいようお願い申し上げます。

基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



**組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。**

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 100×100mm、100×200mm 200×200mm	<b>13-32</b> インチ	<b>10kg</b>

## 設置にあたって：必ずお読みください



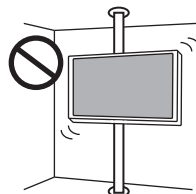
必ず強度のある天井・床にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。

電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。

設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。

以下の場所には設置をしないでください。

- ・振動があるような不安定な場所
- ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ・湿度や温度の高い場所
- ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
- ・開閉するドアの側
- ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



振動など無理な設置

**最初にポールを設置します。ポールの設置については、ポールの説明書を熟読ください。**

## 設置にあると便利な道具

### 1) ドライバー

ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。



### 2) ドリルドライバー

電動ドライバーです。無くても十分設置出来ますが、あれば非常に便利です。



### 3) 5mm六角レンチ

左右の角度調節が硬い、もしくは緩い場合に調節するのにあると便利です。



5mm六角レンチ

### 4) 柔らかい布

設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。

### 5) 軍手

手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれませんが。

## さあ、設置・・・の前に

設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

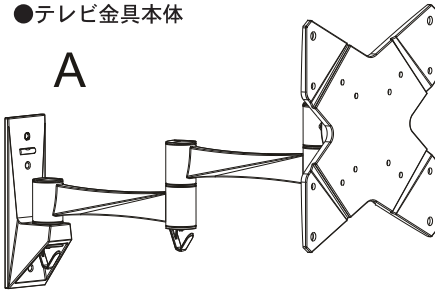
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 100×100mm、100×200mm 200×200mm	<b>13-32</b> インチ	<b>10kg</b>

設置に必要な基本的ネジ類は付属しています。しかしテレビによっては、別途ネジが必要な場合も稀にございます。その時はホームセンター等でご用意下さい。

## 付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

### ●テレビ金具本体



**B**



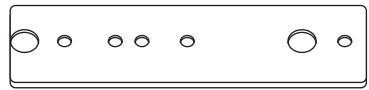
3mm 六角レンチ - 1 本

**C**



4mm 六角レンチ - 1 本

**D**



補助プレート - 1 枚

### ●ネジパッケージ M (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

**M-A**



M4 x 14mm ボルト  
4 本

**M-B**



M5 x 14mm ボルト  
4 本

**M-C**



M6 x 14mm ボルト  
4 本

**M-D**



M8 x 20mm ボルト  
4 本

**M-E**



M5 x ワッシャー 4 個

**M-F**



M8 x ワッシャー 4 個

**M-G**



スペーサー 8 個

### ●ネジパッケージ



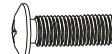
皿ネジ - 2 本



コマ - 2 個



ボール打ち用ボルト  
A (ショート) x 1 B (ロング) x 1



## ●期間限定 設置用 (シークレット) プレゼントアイテム



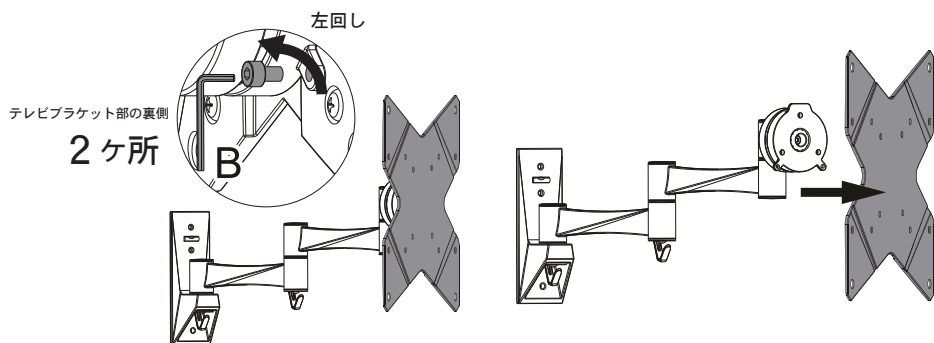
水平器 (デザインは異なる場合があります)



結束バンド

## ステップ 1

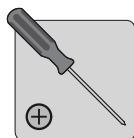
## テレビ金具本体の分割



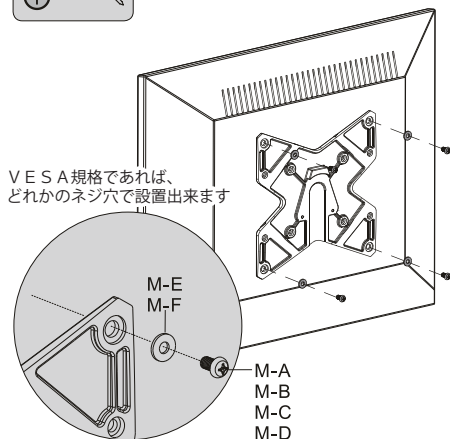
3mm六角レンチ【B】を使用して六角ボルト2か所を外します。ボルトは左回しで緩みます。テレビブラケットを取り外します。外したボルトはステップ5で使用します。なくさないようにして下さい。

## ステップ 2

## テレビブラケットの取り付け

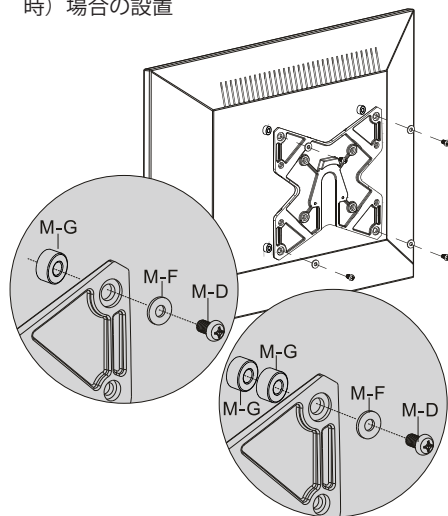


### ●通常の設置



ステップ1で取り外したテレビブラケットをテレビに取り付けます。上記のイラストを見て金具の上下を間違えないようにして下さい。ネジ穴を合わせて、ネジ【M-A～D】とワッシャー【M-E、F】で取付けをします。

### ●ネジの長さが余ってしまう（M-Dネジ使用時）場合の設置



ステップ1で取り外したテレビブラケットをテレビに取り付けます。上記のイラストを見て金具の上下を間違えないようにして下さい。最も太いM8ネジ【M-D】を使用してネジの長さが余ってしまう場合、上図を参考にしてスペーサー【M-G】を金具とネジの間に挟んで取付けをします。



- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意して下さい。
- 2) 万一、ネジが合わない場合、取付可能テレビ（VESA 規格対応）で無い事になります。お取付が出来ませんので設置作業を中止して下さい。



## ステップ 3

## ボールへの補助プレートの取り付け

ボール設置はボールの説明書を読んで確実にってからステップ3に入ります。

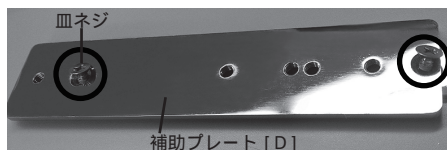


ご注意

テレビ設置の最重要ステップです。取り付けは慎重・確実に作業するようにしてください。設置後に落脱等が無いように十分注意してプレートを取り付けてください。

1

補助プレート [D] の2箇所の皿ネジを通し、コマを仮止めします。

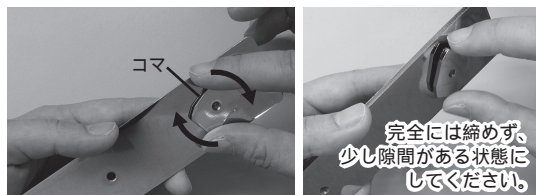


皿ネジを溝にはめ込みます。この時、溝以外に皿ネジを入れると、ネジが届かず設置できませんのでご注意ください。



ご注意

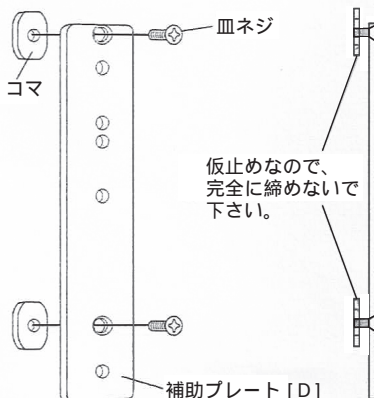
この作業に入る前に、つっぱりボール設置を終えておいてください。ボール設置方法は、ボールに付属している説明書を熟読ください。



皿ネジを指で押さえて、裏からコマのネジ穴を合わせます。

2 ~ 3 回ほどコマを回して仮留めしてください。

ネジは完全に締めないでください。



2

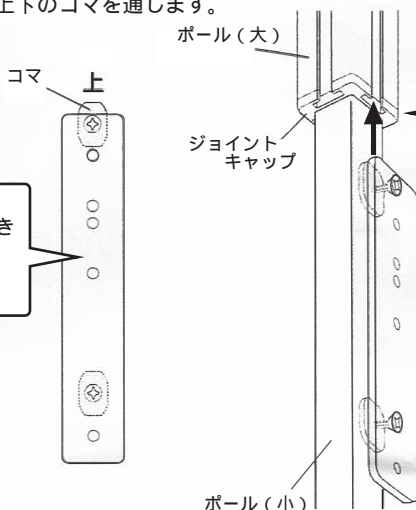
補助プレート [D] をボール (大) に取り付けましょう。

下図を参考に、ボールのジョイントキャップ部より、ボール (大) の溝にコマが見える方を上にして上下のコマを通します。



ご注意

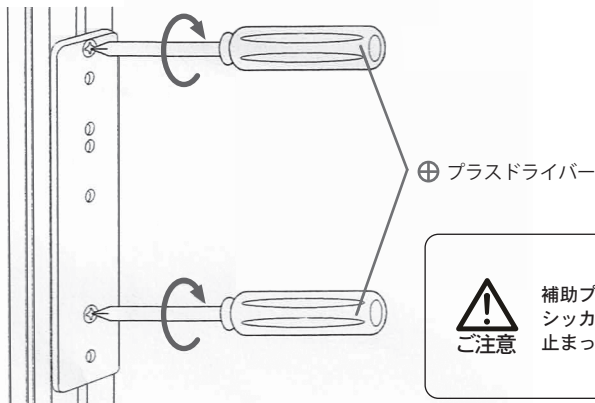
プレートの上下の向きを間違えない様にしましょう。



コマを縦向きにして、ボール (大) の溝に滑り込ませます。

3

ドライバーで、補助プレート [D] をポール（大）にネジ止めします。キッチリと固定して下さい。



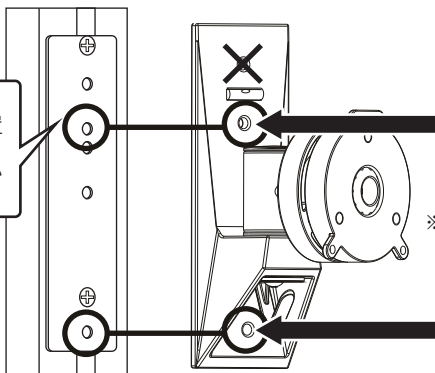
ご注意

補助プレートの固定が緩いと危険です。  
しっかりと止まっている事を確認してください。

## ステップ4 テレビ金具ベースのポールへの取り付け

ポールに固定した補助プレートにテレビ金具を取り付けます。それぞれ使用するネジ穴とネジは下図の通りです。良く見て、ネジ穴を合わせるようにしてください。

使うネジ穴の位置  
に注意して  
合わせてください



ポール打ち用ボルト  
A(ショート)- 1本

※イラストは、分かり易いように  
アーム部を省略しています。

ポール打ち用ボルト  
B(ロング)- 1本



ご注意

上図を参考にして、使用するネジ穴、ネジを間違えないようにしてドライバーで固定します。  
取り付けはネジがキッチリと締まっている事を良く確認してください。

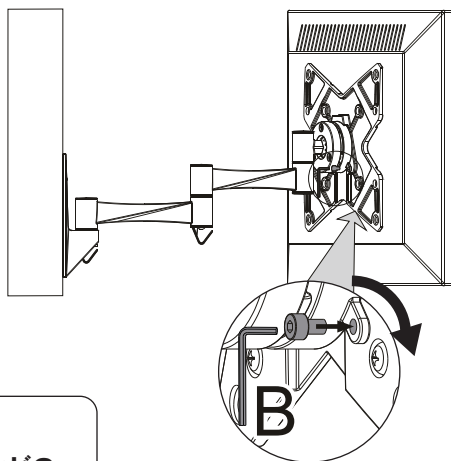
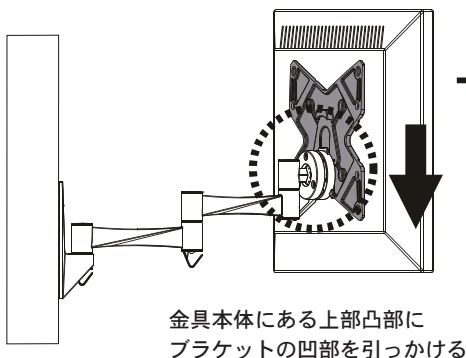
## ステップ 5-1 テレビブラケットと金具本体の組み立て



二人での作業を推奨

- ステップ1で外した2個の六角ボルトを用意します。
- テレビとテレビブラケットを二人で持って、壁に取り付けた金具本体に引っかけます。引っかけただけの段階では落下の危険があるので、一人がテレビを支えるようにします。
- 3mm六角レンチ [B] で2か所の六角ボルトをキッチリと締めます。ボルトは右回しでしめます。キツク締めましょう。

テレビの荷重によって、3mm六角レンチ [B] が締め難い時がありますが、元々ステップ1で付いていたネジですので、必ず締まります。最後まで締めるようにしてください。又、強引に締めるとネジが傷んでしまいますので、よくネジの凹凸を合わせて締めてください。

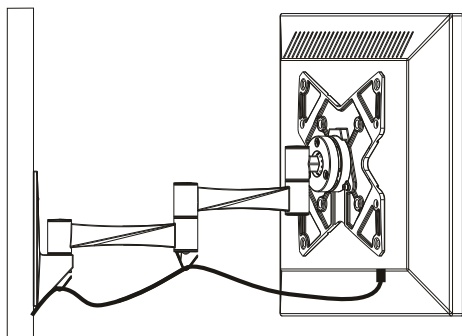


六角ボルト2か所をしっかりと  
締めて止める。落下に注意！



**最重要ポイント**  
六角ボルトを締めるまではテレビの  
落下が無いよう細心の注意を払って  
ください。

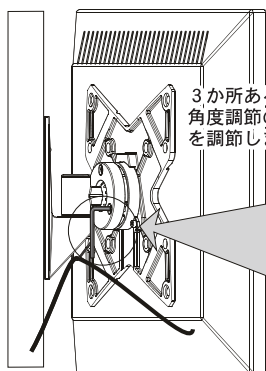
## ステップ 5-2 ケーブルホルダーの活用



- 当商品のポイントとして使いやすいケーブルホルダーがあります。
- 図を参考にして電源やHDMIケーブルなどを綺麗にまとめましょう。  
ホルダーのペロはケーブルの落下を防ぐように長めになっていますので、少し力を入れてペロを取り出すようにすると、ケーブルのホールド作業がやりやすいでしょう。

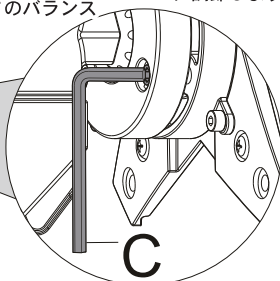
## ステップ 6

## さまざまな角度調節機能について



3か所あるボルトの締め方で角度調節のし易さのバランスを調節します。

- 当商品のポイントとして上下左右の角度調節のやりやすさがあります。最初のセッティングが重要です。図を参考に4mm六角レンチ [C] で3か所のボルトを均一に調節します。



- ・3か所のボルトを均一に緩めると角度調節がしやすくなりますが、緩めすぎるとテレビの自重で自然に「おじぎ」をしてしまいます。
- ・3か所のボルトを均一に締めると角度調節に相応の力が必要になります。

以上の特性を理解した上で調節下さい。テレビの重さによってボルトの締め方のベストバランスが変わりますので、上手く調節しましょう。



**角度調節部のネジを強く締めた状態で無理に角度を変えようとすると金具が破損しテレビが落下する危険性があります。無理な力は加えないでください。**

- ベストなセッティングをする事で、角度調節をする度にネジを緩めたりする必要がなくなり、大変便利です。

## ステップ 7

## 画面水平角度の調節について

- 当商品は、車のハンドルのように画面そのものを回転させる事の出来る機能があります。仮に設置時に水平を取り間違えた時があった場合もこの機能により調節が可能です。画面を両手で持って、水平を取りたい方向にハンドル回転操作します。

## ステップ 8

## 回転部の動きが硬い場合

- もし回転部の動きが硬いと感じたら、潤滑スプレーを使います。

### ①ポイント

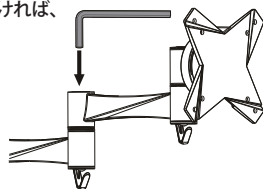
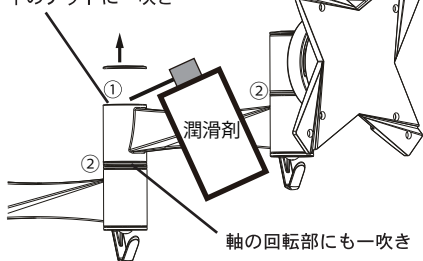
回転部の黒いキャップは外れます。これを外して中のナット部に潤滑スプレーを吹き付けます。

### ②ポイント

金具の横軸回転の接合部にもスプレーが有効です。潤滑剤をかけたのち、硬い部分を何度も動かすと、動きが軽くなります。

別途5mm六角レンチをご用意頂ければ、ナットを緩めることができます。

黒いキャップを取って、中のナットに一吹き



## ステップ 9

## 取付の終了と確認

各取り付け部分や壁面にガタつき等がないか、チェックしてください。緩みがあった場合は、しっかりと締め直しましょう。少しでも違和感があった場合、テレビを一旦取り外し、専門業者に相談してください。これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。

# お疲れ様でした。設置作業は完了です。



定期的にポールを軽く揺すって、  
突っ張りが効いているかチェックして下さい。

## メンテナンス 1

### ポールを伸ばし過ぎた場合

- ① ポールを手に持ち、上下を引っ張り返します。ポール（大）の天井受盤側を下に下げ、ポール（小）の床受盤付近の注意シール面を上面向けます。イラストを参考して下さい。

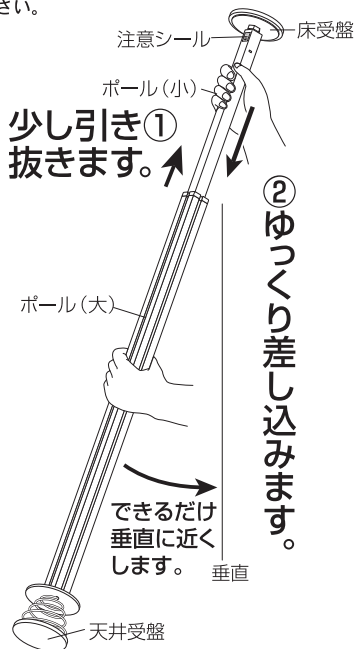


- ② 一旦、ポール（小）を手で握り「少し引き抜く」と内部ロックが解除されます。
- ③ 手で握ったまま、今度は「ゆっくり」とポール（小）を差し込んでください。（動作が速いと停まります）

動作が止まった場合、1～3を繰り返してください。



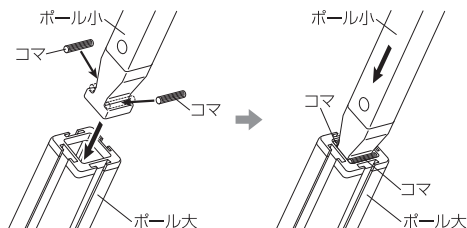
急激に締めようとすると、床受盤が外れる等の  
トラブルの原因になりますので、  
必ず手で握った状態のまま「ゆっくりと」  
長さ調節をして下さい。



## メンテナンス 2

### ポール（大）（小）が外れた場合

ポール（大）の天井受盤側を出来るだけ下に下げて（垂直近く）、ポール（大）にポール（小）の先端を少し差し込み、ポール（小）の先端近くの溝に、抜け落ちたコマ2個を横にして1個づつ入れた後、ゆっくりと差し込んで下さい。なお、途中で止まった場合、「メンテナンス 1 ポールを伸ばし過ぎた場合」の1～2を行ってください。

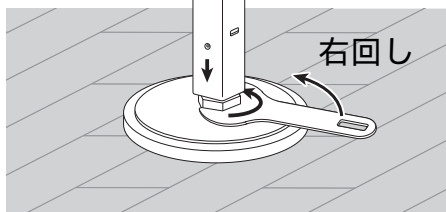


## メンテナンス 3

## ポールを外す場合

本体下部の床受盤に付いている「高さ調節ボルト」を付属品のスパナで右に回してツッパリを緩めた後、ボール（大）とボール（小）を両手で持ち、上に持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外してください。

1



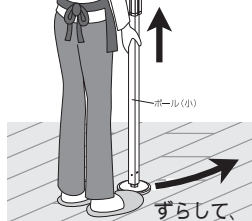
右回しで十分にツッパリを緩めてください。

2



ボール(大)

上に持ち上げて、床受盤を床から少し浮かせて・・・。

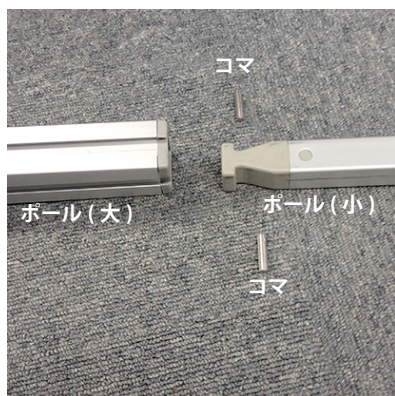


ボール(小)

ずらして、外します。

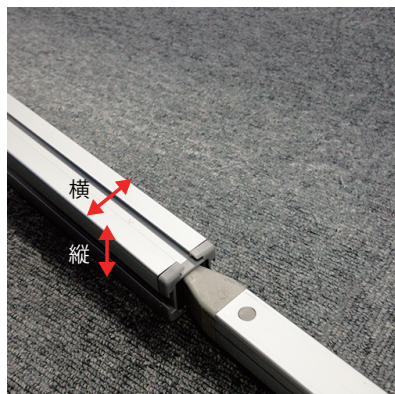
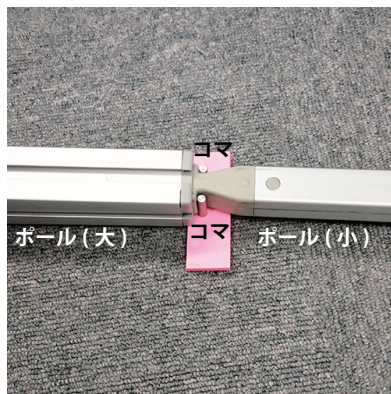


## ボールが外れてしまった場合の対処法

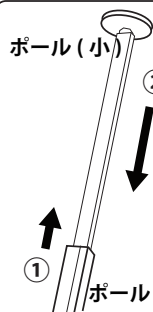


- ① 左の画像の通り、  
ボール(大)1本・ボール(小)1本・コマ2個  
があることをご確認ください。  
ボールの取扱説明書にある、  
「ボールが外れてしまった場合」も一緒にご参照ください。

② 右の画像のように、2個のコマをボール(小)の  
先端のくぼみにあて、そのままボール(大)へ、  
ゆっくりと差し込みます。  
その際、画像の付箋のように、何かを挟み、  
ボール同士の位置を合わせるとやりやすいです。



- ③ ボール(小)を上にして、ゆっくりと差し込みます。  
左の画像の位置で引っかかりやすいです。引っかった  
時は、下記ボールを縮めるコツを参照にゆっくりと、  
作業してください。  
この時、ボールをなるべく垂直にして、左の画像の、  
縦・横を回して入れ替えると差し込みやすくなる場合が  
ございます。  
無理に押し込むとボールが変形する恐れがございますので、  
ご注意ください。



### ●ボールを縮めるコツ●

1. ボールを逆さの状態で、できるだけ垂直に近い角度にしてください。
2. ①の方向に少し引き抜きます。
3. ②の方向にゆっくりと差し込みます。

※途中で止まった場合は、①→②の動きを繰り返してください。